

令和6年度 英語学習実施状況について

金沢市立犀桜小学校

①小学6年生 英語学習についてのアンケート(令和6年1月実施)

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	33.0	45.0	16.0	6.0	0.0
問2	英語の勉強は大切だ。	71.0	20.0	8.0	0.0	0.0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	51.0	43.0	6.0	0.0	0.0
問4	英語の授業の内容が分かる。	63.0	35.0	2.0	0.0	0.0
問5	先生や友達に英語で質問することができる。	31.0	45.0	22.0	2.0	0.0
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	29.0	39.0	29.0	4.0	0.0
問7	アルファベットの大文字が書ける。	86.0	14.0	0.0	0.0	0.0
問8	アルファベットの小文字が書ける。	82.0	16.0	2.0	0.0	0.0
問9	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	94.0	4.0	2.0	0.0	0.0
問10	教科書の単語や英文を読むことができる。	53.0	29.0	16.0	2.0	0.0

②指導改善の具体策

- ・まとまった英語を聞いたり読んだりすることには比較的肯定的に回答する児童が多い一方で、英語で質問したり答えたりすることに苦手感をもっている児童がいる。スピーチをしたりして英語で発表することには臆せず挑戦することに加えて、友達同士で英語でやり取りをする学習のゴールを増やしていくことで、英語で質問したり答えたりすることへの苦手感を減らしていきたい。
- ・「英語が好きだ」という項目に対し、「そう思う」と回答する児童が3割に留まっている。英語でコミュニケーションをたくなるような、魅力的な言語活動や学習のゴールを設定し、主体的に学んでいこうとする環境を整えていきたい。

③学校関係者評価

- ・英語の勉強が大切である、ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っていると感じている児童の割合が高く、多くの児童が英語の大切さを感じていることがわかる。
- ・英語の授業の内容がわかる児童が多く、英語を聞くことについては自信をもっている児童が多い一方、先生や友達に英語で質問することができるや英語で質問に答えることができるについては、やや自信がないことがわかる。
- ・児童が理解した内容を話したり書いたりし、実際に活用する時間を授業の中でより多く設定することで自信をもつことができるのではないか。